

環境問題への取り組み

1992年

3月

タイへ進出している日系企業の代表として、タイで開催された「日米泰オゾン層保護会議」に参加し、「特定フロン及びエタンを使用しない純水洗浄システム」を公開。



純水洗浄システム

1991年

7月

洗浄用特定フロン及びエタンの使用全廃を目的として「フロン対策委員会」を設置。

1993年

4月

世界のベアリングメーカーに先駆けて、グループすべての工場における洗浄用特定フロン及びエタンの使用を全廃。

注) 投資総額約50億円を投じて各工場に純水洗浄装置を導入し、それまでに洗浄用に使用していた月当たり約145トンの特定フロン及び約325トンのエタンの使用を全廃。

「フロン対策委員会」を発展解消し、「環境対策委員会」を設置。

7月

通産省主催の「オゾン層保護セミナー」において、純水洗浄装置の詳細技術を公開(以後、世界各国主催のセミナーやタイ工場見学会において同技術を公開)。

8月

「ミネベア環境憲章」を制定。

10月

タイ子会社各社及び日本の工場が、米国環境保護庁(EPA)から「1993年度オゾン層保護賞」を受賞。

1995年

10月

前社長の荻野が、EPAから「1995年度オゾン層保護賞」を受賞。



オゾン層保護賞の盾

1991

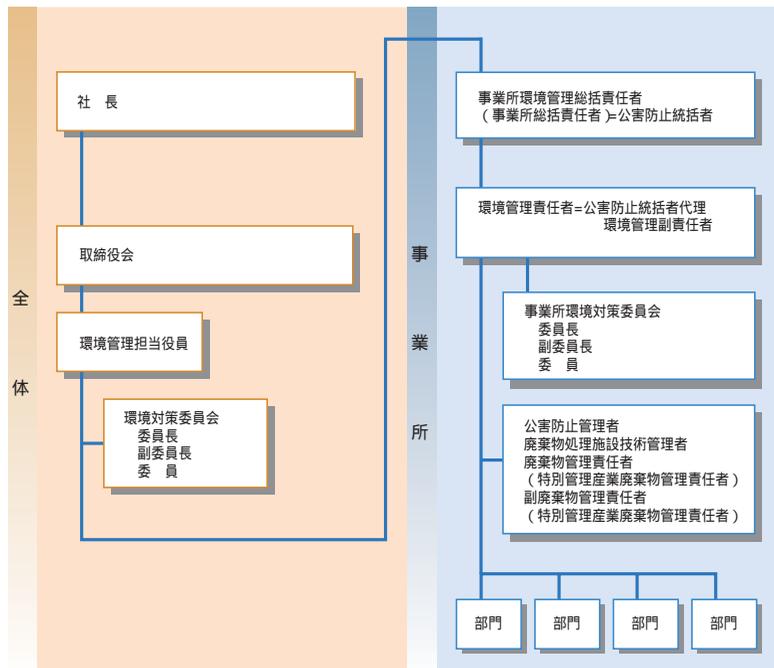
1992

1993

1995

1996

ミネベア環境マネジメントシステム組織体系



1996年

4月

中国の製造子会社上海美蓓亞精密机电有限公司が所在する地元青浦区淀山湖の水質保全とその周辺の環境保全を目的とした「上海美蓓亞淀山湖環境保護基金」を設立(環境保全を目的とする基金の設立は上海に進出している外資系企業としては初。2001年12月現在の基金額1,100万人民币)。

7月

ミネベアグループの全工場で、国際規格である「ISO14001」の認証を順次取得していくことが決定され、環境マネジメントシステムの構築が開始される。



システムに基づく環境教育・訓練

1997年

4月

軽井沢の本社工場及び英国子会社Rose Bearings Ltd.のリンカーン工場が、世界のベアリングメーカーに先駆けて環境マネジメントシステムの国際規格である「ISO14001」の認証を取得。



英国・リンカーン工場

軽井沢製作所



タイ工場の排水処理施設



現場審査（軽井沢製作所）

9月

グループ全体が、EPAから「ベストオブザベスト オゾン層保護賞」を受賞。

10月

グループ最大の製造拠点であるタイの全工場が同時に「ISO14001」の認証を取得。



タイ工場の認証授与式

12月

中国上海2工場が「ISO14001」の認証を取得。



切粉に付着したオイルの分離機やオイルミスト回収ダクトが完備された切削加工工程

1997

1998

1999

2000

2001

1998年

1月

シンガポールの全工場が「ISO14001」の認証を取得。

2月

ドイツの製造子会社 Precision-Motors-Deutsche-Minebea-GmbH が「ISO14001」の認証を取得。

6月

荻野前社長が、上海市の環境保護に貢献した個人として、「上海市環境保護賞」を受賞。

国内の製造子会社エヌ・エム・ビー電子精工株式会社、ミネベア音響株式会社（技術センター）、家具の販売子会社株式会社アクタスが「ISO14001」の認証を取得。

8月

電子機械部品のマザー工場である浜松製作所が「ISO14001」の認証を取得。

10月

藤沢製作所並びに大森製作所が「ISO14001」の認証を取得。

1999年

1月

京都製作所が「ISO14001」の認証を取得。

2月

英国子会社Rose Bearings Ltd.のスギグネス工場が「ISO14001」の認証を取得。

6月

米国子会社 New Hampshire Ball Bearings, Inc.のピーターボロー工場が「ISO14001」の認証を取得。

11月

英国子会社NMB(U.K.)Ltd.のインチナン工場が「ISO14001」の認証を取得。

2000年

10月

英国子会社Minebea Electronics (UK)Ltd. が「ISO14001」の認証を取得。

2001年

5月

「上海美僑淀山湖環境保護基金」を750万人民币から1,100万人民币に増額。

7月

米国の製造子会社 Hansen Corporation が「ISO14001」の認証を取得。

11月

米国子会社New Hampshire Ball Bearings, Inc.のチャッツワース工場が「ISO14001」の認証を取得。